

第62回日本公衆衛生学会総会（京都）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長 榊本 頼兼（京都市長）
 名誉顧問 山田 啓二（京都府知事）
 学会長 中原 俊隆
 （京都大学医学部公衆衛生学教室教授
 京都大学大学院医学研究科教授）
 副学会長 油谷 桂朗（京都府医師会会長）
 副学会長 野田 広（京都市保健政策監）
 顧問 門川 大作（京都市教育長）
 上原 任（京都市環境局長）
 折坂 義雄（京都市保健福祉局長）

2 開催日

平成15年10月22日（水）

午前 開会式，学会長講演，特別講演1，総会議事

午後 特別講演2，教育講演1・2，一般演題発表（示説・コーナースピーチ），企業展示，紹介ブース，自由集会

平成15年10月23日（木）

午前 メインシンポジウム，特別講演3，教育講演3，奨励賞受賞者表彰及び講演

午後 ランチョンセミナー，シンポジウム1～4，自由集会

終日 一般演題発表（示説・コーナースピーチ），企業展示，紹介ブース

平成15年10月24日（金）

午前 教育講演4～6，一般演題発表（示説・コーナースピーチ），企業展示，紹介ブース

3 開催地

京都市

4 会場

国立京都国際会館（総会・自由集会）

関西文理学院（自由集会）

キャンパスプラザ京都（自由集会）

社団法人京都府歯科医師会 口腔保健センター
 （自由集会）

京都市北文化会館（自由集会）

5 参加者数

(1) 有料入場者数 3,979人

職種別	件数	%	都道府県別	人数	%
1. 医師（行政）	318	13.6	1. 東京都	282	12.1
2. 医師（教育・研究）	218	9.3	2. 大阪府	193	8.3
3. 医師（臨床）	59	2.5	3. 京都府	108	4.6
4. 歯科医師	48	2.1	4. 愛知県	89	3.8
5. 薬剤師	53	2.3	5. 神奈川県	80	3.4
6. 獣医師	12	0.5	6. 埼玉県	69	2.9
7. 保健師	751	32.1	7. 兵庫県	68	2.9
8. 看護師・准看護師	90	3.8	8. 北海道	63	2.7
9. 管理栄養士・栄養士	105	4.5	9. 群馬県	60	2.6
10. 臨床・衛生検査技師	42	1.8	10. 岡山県	60	2.6
11. 歯科衛生士・技工士	19	0.8	10. 福岡県	59	2.5
12. 健康教育系	95	4.1	12. 秋田県	54	2.3
13. 生物・物理・化学・工学系	44	1.9	13. 富山県	48	2.1
14. 事務系	45	1.9	14. 茨城県	45	1.9
15. その他	328	14.0	15. 千葉県	43	1.8
16. 無回答	112	4.8	16. その他	827	35.4
			17. 無回答	191	8.1
小計	2,339	100.0	小計	2,339	100.0
不明	1,640	—	不明	1,640	—
合計	3,979	—	合計	3,979	—

(2) その他の参加者数 1,465人

項 目	人 数
関連イベント	
市民公開講座	200
感染症フォーラム	400
ランチョンセミナー1	135
ランチョンセミナー2	230
ランチョンセミナー3	320
ランチョンセミナー4	180
合 計	1,465

6 総会・特別行事等

第1日 平成15年10月22日(水)〔第1会場：
(メインホール)〕

開会式 9:00~9:20

(挨拶)

学 会 長 中原 俊隆 (京都大学医学部公衆衛生
学教室教授・京都大学大
学院医学研究科教授)

名誉学会長 榎本 頼兼 (京都市長)

(来賓祝辞)

厚生労働大臣 坂口 力 (代理) 田中 慶司
(厚生労働省健康局長)

学会長講演 9:30~10:15

「ヘルスプロモーションと健康政策」

中原 俊隆 (京都大学医学部公衆衛生学
教室教授・京都大学大学院
医学研究科教授)

座長 多田 學 (島根医科大学名誉教授)

特別講演1 10:20~11:10

「禅の心、茶の心」

千 宗室 (裏千家第16代家元)

座長 野田 広 (京都市保健政策監)

平成15年度総会 11:20~11:50

教育講演1 14:10~15:00

「地域における多重リスク症候群の疫学と予防」

岡崎 勲 (東海大学医学部基盤診療学
系公衆衛生・社会医学教授)

座長 板垣 泰子 (京都市西京保健所所長)

教育講演2 15:10~16:00

「アメリカの糖尿病対策と活動—ニューヨーク州
の実例を中心に—」

ホスラー 晃子 (ニューヨーク州保健省糖尿
病学主任研究員・ニューヨ
ーク州立大学オルバニー校公衆
衛生大学院疫学部助教授)

座長 嶋本 喬 (大阪府立健康科学センター
所長)

特別講演2 16:10~17:00

「疫学の先覚者、高木兼寛の事績と近代科学に与
える教訓」

糸川 嘉則 (福井県立大学教授・看護福
祉学研究科長)

座長 中原 俊隆 (京都大学医学部公衆衛生学
教室教授・京都大学大学院
医学研究科教授)

第3会場：(イベントホール) 一般演題発表(示
説・コーナースピーチ)

第2日 平成15年10月23日(木)

〔第1会場：(メインホール)〕

メインシンポジウム 9:00~11:00

「健康増進法成立下での健康日本21の推進」

コーディネーター・座長

渡邊 能行 (京都府立医科大学大学院医
学研究科地域保健医療疫学
教授)

座長 上島 弘嗣 (滋賀医科大学福祉保健医学
講座教授)

基調講演：「健康増進法の成立とこれから」

高原 亮治 (前厚生労働省健康局長)

1) 市町村における健康日本21の推進—保健師
の立場から

西本 美和 (滋賀県大津市役所福祉保健
部健康管理課主任)

2) 市町村における健康日本21の推進—栄養士
の立場から

田中 陽子 (京都市保健福祉局保健衛生
推進室健康増進課担当係長)

- 3) 市町村を支援する都道府県保健所における健康日本21の推進
～こころの健康づくり対策(うつ病対策)事業を通じて～

宇田 英典(鹿児島県伊集院保健所所長)

- 4) 地域住民としての専門職ボランティアにおける健康日本21の推進

工藤 充子(NPO法人はっとスペースゆう理事長)

- 5) 地域を支援する地域医師会における健康日本21の推進

上原 春男(京都府医師会副会長)

教育講演3 9:30~10:40

[第2会場:(RoomA)]

「SARSの疫学と対策」

岡部 信彦(国立感染症研究所感染症情報センター長)

(特別発言) SARSの情報公開と提供について

衣笠 昭彦(京都府保健福祉部理事)

座長 加嶋 敬(京都市立病院院長)

奨励賞受賞者表彰及び講演 10:50~12:00

[第2会場:(RoomA)]

座長 白川 太郎(京都大学大学院医学研究科教授)

佐藤 俊哉(京都大学大学院医学研究科教授)

- 1) 「食」による生活習慣病の一次予防に関する研究

東 あかね(京都府立大学人間環境学部教授)

- 2) 地域における感染症予防に関する調査研究

角野 文彦(滋賀県長浜保健所所長)

特別講演3 11:10~12:00

[第1会場:(メインホール)]

「公衆衛生と日本の再生—地域社会の活性化を通して」

尾身 茂(WHO西太平洋事務局地域事務局長)

座長 近藤 健文(環境省公害健康被害補償不服審査会委員)

シンポジウム1 13:30~15:00

[第1会場:(メインホール)]

「たばこ対策の今後」

座長 秋葉 澄伯(鹿児島大学医歯学総合研究科疫学・予防医学教授)

- 1) 喫煙の健康影響—多目的コホート研究からのエビデンス

津金昌一郎(国立がんセンター研究所臨床疫学研究部長・がん予防研究部長)

- 2) 未成年喫煙の実態と関連要因について

尾崎 米厚(鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野助教授)

- 3) 厚生労働省におけるたばこ対策の推進について

平子 哲夫(厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室室長補佐)

- 4) 未成年への禁煙支援のあり方

高橋 裕子(奈良女子大学保健管理センター教授)

シンポジウム2 15:10~17:00

[第1会場:(メインホール)]

「大都市における公衆衛生活動の課題と展望」

コーディネーター・座長

松井祐佐公(京都市伏見保健所所長)

座長 小倉 敬一(千葉市保健所所長)

- 1) 大都市と結核—大阪市の対策と課題—

撫井 賀代(大阪市保健所保健主幹)

- 2) 大都市と環境汚染

内山 巖雄(京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻環境衛生学講座教授)

- 3) 大都市と心—大都市の精神保健問題—

竹島 正(国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部長)

- 4) 大都市と健康

多田羅浩三(大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学教授)

- 5) 今後の都市保健の展望

高野 健人(東京医科歯科大学大学院健康推進医学教授)

シンポジウム3 13:30~15:00

〔第2会場:(RoomA)〕

「感染症予防に対する市町村の新しい取り組み」

コーディネーター・座長

松本 慶蔵(長崎大学名誉教授)

- 1) 予防接種率の現状と麻疹制圧に対する取り組み

吉田 忠(日本小児科医会公衆衛生委員会委員長)

- 2) 姫路市における予防接種接種率の向上対策
岡藤 輝夫(姫路市予防接種運営協議会委員)

- 3) 沖縄県具志川市における麻疹対策はしかー“O”プロジェクトに連動してー

知念 正雄(社団法人沖縄県小児保健協会理事)

- 4) 肺炎球菌ワクチンによる町ぐるみの肺炎予防対策

村上 智彦(瀬棚町国民健康保険医科診療所所長)

シンポジウム4 15:10~17:00

〔第2会場:(RoomA)〕

「生活衛生対策の新しい動向」

コーディネーター・座長

相澤 好治(北里大学医学部衛生学公衆衛生学教授)

大井田 隆(日本大学医学部公衆衛生学教授)

- 1) シックハウス症候群
相澤 好治(北里大学医学部衛生学公衆衛生学教授)

- 2) ビル管理法の新たな展開
大井田 隆(日本大学医学部公衆衛生学教授)

- 3) 内分泌攪乱因子の最新動向と公衆衛生

坂部 貢(社団法人北里研究所・北里研究所病院・臨床環境医学センター部長)

- 4) 生活衛生に関する健康教育の動向

曾根 智史(国立保健医療科学院公衆衛生政策部地域保健システム室長)

- 5) 保健所における新しい取り組み

伊藤 英子(京都市上京保健所所長)

(特別発言) 建築物衛生の展望

小林 秀幸(厚生労働省健康局生活衛生課課長補佐)

第3日 10月24日(金) 午前

教育講演4 9:10~10:00

〔第1会場:(メインホール)〕

「死亡減少につなげるためのがん検診」

祖父江友孝(国立がんセンター研究所がん情報研究部長)

座長 今井 弘行(京都市左京保健所所長)

教育講演5 10:10~11:00

〔第1会場:(メインホール)〕

「卒後医師臨床研修における保健所の役割」

岡田 尚久(鳥根県松江保健所所長)

座長 徳永 力雄(関西医科大学衛生学教授)

教育講演6 11:10~12:00

〔第1会場:(メインホール)〕

「個人情報の利活用と保護に関する法的課題」

安富 潔(慶応義塾大学法学部教授)

座長 渡邊 能行(京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学教授)

特別行事プログラム参加者数

学会総会

開催日	行事名	講演名	参加者数
10月22日	開会式		900
10月22日	学会長講演	ヘルスプロモーションと健康政策	1,200
10月22日	特別講演1	禅の心, 茶の心	1,600
10月22日	教育講演1	地域における多重リスク症候群の疫学と予防	400
10月22日	教育講演2	アメリカの糖尿病対策と活動—ニューヨーク州の実例を中心に—	500
10月22日	特別講演2	疫学の先覚者, 高木兼寛の事績と近代科学に与える教訓	500
10月23日	メインシンポジウム	健康増進法成立下での健康日本21の推進	1,200
10月23日	特別講演3	公衆衛生と日本の再生—地域社会の活性化を通して	1,400
10月23日	シンポジウム1	たばこ対策の今後	1,200
10月23日	シンポジウム2	大都市における公衆衛生活動の課題と展望	500
10月23日	教育講演3	SARSの疫学と対策	300
10月23日	奨励賞受賞者講演	「食」による生活習慣病の一次予防に関する研究 地域における感染症予防に関する調査研究	200
10月23日	シンポジウム3	感染症予防に対する市町村の新しい取り組み	200
10月23日	シンポジウム4	生活衛生対策の新しい動向	200
10月24日	教育講演4	死亡減少につなげるためのがん検診	200
10月24日	教育講演5	卒後医師臨床研修における保健所の役割	300
10月24日	教育講演6	個人情報の利活用と保護に関する法的課題	300

7 一般演題

一般演題数 1,445件〔第3会場：(イベントホール)〕

分科会	分科会名	会場	コーナースピーチ	示説	小計
第1分科会	疫学・保健医療情報	国立京都国際会議館第3会場 (イベントホール)	10	53	63
第2分科会	健康教育		20	138	158
第3分科会	ヘルスプロモーション, 健康日本21, QOL		20	179	199
第4分科会	保健所, 衛生行政, 健康危機管理		15	57	72
第5分科会	地域保健・地域医療		5	119	124
第6分科会	難病・障害・医療福祉			36	36
第7分科会	成人保健Ⅰ(循環器疾患, 悪性新生物)		10	43	53
第8分科会	成人保健Ⅱ(その他)		10	27	37
第9分科会	母子保健・学校保健		25	168	193
第10分科会	老人保健福祉・介護		15	161	176
第11分科会	精神保健福祉		15	61	76
第12分科会	歯科保健			12	12
第13分科会	感染症		25	86	111
第14分科会	公衆栄養			34	34
第15分科会	食品衛生・薬事衛生			10	10
第16分科会	産業保健			32	32
第17分科会	環境保健・生活環境衛生		5	31	36
第18分科会	国際保健			23	23
合計			175	1,270	1,445

一般演題 参加者数 3,830名
 [第3会場：(イベントホール)]
 コーナースピーチ

名称	開催日	会場	参加者数	合計参加者数
第1分科会	10月23日	国立国際会議館第3会場 (イベントホール)	60	80
	10月23日		20	
第2分科会	10月24日		90	90
第3分科会	10月22日		110	150
	10月24日		40	
第4分科会	10月22日		130	130
第5分科会	10月23日		40	40
第6分科会	—		—	—
第7分科会	10月24日		60	60
第8分科会	10月23日		40	80
	10月24日		40	
第9分科会	10月22日		130	330
	10月23日		120	
第10分科会	10月23日		80	120
	10月23日		120	
第11分科会	10月23日		130	130
第12分科会	—		—	—
第13分科会	10月22日		170	270
	10月23日	100		
第14分科会	—	—	—	
第15分科会	—	—	—	
第16分科会	—	—	—	
第17分科会	10月23日	50	50	
第18分科会	—	—	—	
合計			1,530	

示説発表

名称	開催日	参加者数
第1分科会	10月23日	40
第2分科会	10月22日	420
第3分科会	10月23日	200
第4分科会	10月23日	80
第5分科会	10月22日	170
第6分科会	10月24日	75
第7分科会	10月23日	80
第8分科会	10月23日	60
第9分科会	10月24日	265
第10分科会	10月23日	240
第11分科会	10月24日	120
第12分科会	10月23日	30
第13分科会	10月24日	150
第14分科会	10月23日	120
第15分科会	10月22日	60
第16分科会	10月23日	80
第17分科会	10月23日	40
第18分科会	10月22日	70
合計		2,300

8 第62回総会関連イベント

感染症フォーラム

10月22日(水) 17:30~21:30

[第2会場：(RoomA)]

テーマ「感染症対策の充実に向けて～今、何が求められているか～」

1) 基調講演

尾身 茂 (WHO 西太平洋事務局地域事務局長)

2) 現地報告

砂川 富正 (国立感染症研究所)

3) テーマ別討論

座長 角野 文彦 (滋賀県長浜保健所所長)

阿彦 忠之 (山形県村山保健所)

- ① 検疫所の役割と課題
- ② 臨床現場の役割と課題
- ③ 公衆衛生機関の役割と課題
- ④ 情報共有に関する課題

ランチョンセミナー

10月23日(木) 12:15~13:15

[京都宝ヶ池プリンスホテル]

1. 肺炎球菌ワクチンについて
島田 馨（東京専売病院院長）
座長 大谷 明（元国立感染症研究所長，国立感染症研究所名誉所員）
（提供：万有製薬株）
2. 肝疾患の検診の実際とフォロー
岡上 武（京都府立医科大学大学院医学研究科消化器病態制御学教授）
座長 渡邊 能行（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学教授）
（提供：中外製薬株）
3. 睡眠面からの生活習慣病の予防に対するアプローチ
座長 嶋本 喬（大阪府立健康科学センター所長）
 - 1) 地域・職域における取り組み
谷川 武（筑波大学社会医学系社会健康医学助教授）
 - 2) 大阪府立健康科学センターにおける取り組み
立花 直子（大阪府立健康科学センター健康開発部主幹兼医長）
（提供：フジレスピロニクス株）
4. 禁煙の考え方・すすめ方
座長 中原 俊隆（京都大学医学部公衆衛生学教室教授・京都大学大学院医学研究科教授）
 - 1) 禁煙の疫学
小笹晃太郎（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学助教授）
 - 2) 禁煙指導の現状と将来—保健所・市区町村の教育を中心に—
里村 一成（京都大学医学部公衆衛生学教室助手・京都大学大学院医学研究科助手）
（提供：ファイザー株）

9 自由集会

参加者数：1,617名（38集会）

集会 番号	開催日	会 場	集 会 名	参加 者数
01	10月22日	関西文理学院 1号館132	保健師の卒後教育・研修を考える—公衆衛生を担う看護職の人材育成—	90
02	10月22日	関西文理学院 1号館133	全国衛生行政研修会・セミナー	60
03	10月22日	関西文理学院 1号館134	地域高齢者の閉じこもり	60
04	10月22日	関西文理学院 2号館221	「評価」を念頭に健康日本21地方計画を考える	22
05	10月22日	関西文理学院 2号館222	知ろう・語ろう・考えよう！健やか親子21 その3	31
06	10月22日	関西文理学院 2号館223	プレアンビュランスケアの重要性—レスキュー呼吸とCPRの実技講習—	中止
07	10月22日	関西文理学院 2号館224	ハッピーファクターを探す会	40
08	10月22日	関西文理学院 2号館231	結核集団発生の対策に関する集会	117
09	10月22日	関西文理学院 2号館232	地域・職域における自殺予防	58
10	10月22日	関西文理学院 3号館321	公衆衛生と危機管理	17
11	10月22日	関西文理学院 3号館322	第12回多胎児を産み育てる家庭への保健サービスを考える集会	23
12	10月22日	関西文理学院 3号館331	住民参画による健康日本21地方計画づくり—事例を通して—	50
13	10月22日	関西文理学院 3号館332	公衆衛生に国境はない	33
14	10月22日	京都府歯科医師会口腔保健センター 2階講堂	第22回地域歯科保健フォーラム	88
15	10月22日	京都市北文化会館 創造活動室	第19回運動と健康自由集会	47
16	10月22日	京都市文化会館 第1会議室	ヘルスプロモーションの有効性に関する検討会	20
17	10月22日	京都市文化会館 第4会議室	ジョン・スノウの会	20
18	10月23日	関西文理学院 1号館124	循環器病予防自由集会	42
19	10月23日	関西文理学院 1号館132	性的指向と健康問題 —男性同性愛者と保健医療機関のアクセス—	21
20	10月23日	関西文理学院 1号館133	地域保健・福祉活動における地域リハビリテーション事業のあり方	28
21	10月23日	関西文理学院 1号館134	第6回レセプト情報の活用を考える自由集会	28
22	10月23日	関西文理学院 2号館221	EAP（従業員支援プログラム）の地域における応用的活用について	10
23	10月23日	関西文理学院 2号館222	元気の出るケースメソッド	11
24	10月23日	関西文理学院 2号館223	公衆衛生看護を語ろう—現場・教育それぞれの立場で描こう保健師像—	53
25	10月23日	関西文理学院 2号館224	第2回エビデンスに基づく骨折予防自由集会	25
26	10月23日	関西文理学院 2号館231	健康づくりボランティア活動活性化の秘訣を探る	80
27	10月23日	関西文理学院 2号館232	楽しくてためになる健康教育の実践（さんまの会）	91
28	10月23日	関西文理学院 2号館321	食品表示をテーマとしたリスクコミュニケーション①	19
29	10月23日	関西文理学院 3号館322	日本ナース・ヘルス研究（JNHS）	20

集会 番号	開催日	会 場	集 会 名	参加 者数
30	10月23日	関西文理学院 3号館331	喫煙対策自由集会	58
31	10月23日	関西文理学院 3号館332	伝統医療など代替医療研究と公衆衛生 (第2回)	20
32	10月23日	キャンパスプラザ京都 第1会議室	食環境づくり研究会 第3回 フードシステムの面からの食環境 づくり	45
33	10月23日	キャンパスプラザ京都 第2会議室	全国保健所放射線技師会主催「結核発生動向調査とコホート情 報の意義と活用」	33
34	10月23日	キャンパスプラザ京都 第3会議室	住まいと健康フォーラム ―介護保険以降の住宅改修の課題を 考える―	26
35	10月23日	国立京都国際会館 RoomA	全国いきいき公衆衛生の会	120
36	10月23日	京都市北文化会館 創造活動室	身体障害者補助犬法と補助犬の同伴利用受け入れについて	33
37	10月23日	京都市北文化会館 第1会議室	第8地域保健福祉分野における情報通信技術の活用に関するシ ンポジウム	25
38	10月23日	京都市北文化会館 第2会議室	女性の少数職種として、ジェンダーフリーとリプロダクティブ ヘルス・ライツなどについて考える会	3
39	10月23日	京都市北文化会館 第4会議室	こう書けばわかる！保健師記録―記録にみる保健師活動の論点 ―	50
合			計	1,617

10 紹介ブース (一般)

番号	ブ ー ス 名
1	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学 (公衆衛生)
2	健やか親子21公式ホームページの活用
3	勸結核予防会 結核研究所
4	帝京大学 EBM センター
5	日本循環器管理研究協議会 (日本循環器病予防学会)
6	放射線影響研究所 疫学部
7	Japan Nurses' Health Study (日本ナース・ヘルス研究)
8	(社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター
9	国立保健医療科学院の紹介 (仮称)
10	実地疫学専門家養成コース
11	特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター
12	日本禁煙推進医師歯科医師連盟
13	全国保健師教育機関協議会
14	大阪府立健康科学センター
15	むし歯予防のための公衆衛生的フッ化物利用
16	東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野
17	特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構
18	順天堂大学医学部衛生学教室
19	7th ICAAP コミュニティスペース
20	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
21	NPO 法人 日本介助犬アカデミー
22	日本公衆衛生学会
23	勸日本公衆衛生協会
24	第63回日本公衆衛生学会総会紹介ブース (島根県)

11 紹介ブース（地方計画ブース）

番号	ブ　ー　ス　名
1	北海道南渡島健康ナビ2010～南渡島地域健康づくり行動指針～
2	たじみ健康ハッピープラン
3	近畿公衆衛生医師・歯科医師の会，近畿公衆衛生ネットワーク
4	島根県（島根県浜田健康福祉センター）
5	島根県（島根県益田健康福祉センター）
6	島根県（隠岐支庁健康福祉局）
7	島根県（島根県健康福祉部健康推進課）
8	元気県ぐんま21
9	とようらぐ～んと健康21計画について
10	京都府保健福祉部 健康対策課
11	青森県自治体病院再編成計画

第62回日本公衆衛生学会総会決算書

【収入の部】

(単位：円)

科 目	決算額	積 算 内 訳
都道府県市分担金	5,220,000	47都道府県, 13政令市 (例年定額)
公衆衛生学会負担金等収入	3,000,000	日本公衆衛生学会負担金 (定額)
開催地負担金	5,000,000	京都市 (2,500,000) 京都府 (2,500,000)
前年度開催地負担金等収入	200,000	第61回学会 (埼玉)
抄録集売上収入	27,432,500	事前売上 2429部 当日売上 1550部
演題申込金収入	4,464,000	演題申込 1445題
諸収入	10,340,402	助成金, 寄付金, 広告, 企業展示収入, 抄録バッグ売上等
取 入 計	55,656,902	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	決算額	積 算 内 訳
1 準備費	24,901,143	
共 済 費	191,197	日々雇用職員 (4月～10月)
賃 金	1,152,785	日々雇用職員 (4月～10月)
旅 費	472,240	事前打ち合わせ等
需 用 費	1,139,280	事務用品, 印刷費等
役 務 費	379,095	通信, 運搬費, 郵便
使用料及び賃借料	64,260	実行委員会, 学部部会開催費
委 託 費	19,670,840	学会総会運営業務委託, 抄録の作成
備 品 購 入 費	1,699,446	学会総会用パソコンサーバー機一式購入費
雑 支 出	132,000	参加費等誤収入に伴う払戻金
2 総会費	26,533,048	
報 償 費	714,226	講師・座長謝礼金等
旅 費	846,204	座長・シンポ等打ち合わせ費用
需 用 費	2,665,380	事務用品, 印刷費, 抄録用バッグ作成費
役 務 費	100,124	開催中の連絡経費
使用料及び賃借料	22,207,114	会場借上げ・設備費用
3 事後処理費	4,022,711	
共 済 費	74,836	日々雇用職員 (11月～2月)
賃 金	348,950	日々雇用職員 (11月～2月)
旅 費	616,347	理事会・事務引継等
需 用 費	2,651,439	報告書作成・印刷等
使用料及び賃借料	182,437	実行委員会開催費
役 務 費	148,702	通信運搬, 報告用 DVD 作成費
4 繰越金	200,000	
次期学会総会繰越金	200,000	第63回学会総会 (島根)
合 計	55,656,902	